



新市誕生から 20 年 広がる、深める 郷土のあゆみ

新市誕生から 20 年が経過しました。この間、地震や雪害、人口減少など、さまざまな出来事を経て社会環境は変化しました。その変遷を歴史資料などからたどり、各地域のあゆみを振り返ります。

問合せ 総務課市史資料室（北村支所内） ☎ 56-2001

第 6 回 実現しなかった昭和の合併と広域連携による行政サービス

昭和 26 年、国は北海道総合開発計画を発表し、食糧増産のため美唄原野などで石狩川水系の泥炭地開拓に着手しました。これを機に昭和 29 年、北村では新たな市街地を道道岩見沢月形線沿いに整備する内容を盛り込んだ総合計画を策定し、その第一歩として下美唄にあった役場庁舎を赤川に移転しました。

国や北海道による治水事業や土地改良によって泥炭地が農耕地に生まれ変わり、昭和 40 年代には北村の耕地面積は空知管内で屈指の規模に躍進しました。また、この時期から村民の生活を支える水道、し尿処理、火葬、消防、ごみ処理などの行政サービスは、岩見沢市や栗沢町との広域連携により充実していきました。

昭和 40 年 6 月、農耕地の拡大に伴う経済圏の拡大に着目した岩見沢商工会議所は、岩見沢市と北村の両議会に合併要請の提案書を提出しました。両議会とも広域行政研究会や特別委員会を設置して審議しましたが、結論は出せませんでした。その後、幌向地域と歴史的なつながりが強い砂浜・幌達布地域を中心に両者の合併を求める合併促進期成会が結成され、昭和 41 年から 46 年にかけて両議会宛てに繰り返し請願書や陳情書を提出しました。両議会は特別委員会で丁寧に審議し、岩見沢市議会では昭和 44 年、北村議会では昭和 49 年にそれぞれ採択されましたが、合併の機運が市民や村民へ広がることはありませんでした。

北村では国の減反政策などに伴い過疎化が進んだものの、昭和 45 年の過疎地域対策緊急措置法を活用して、学校や公民館の整備などを村全体で進め、スポーツや文化交流が広がったほか、農耕地の拡大により経済基盤が確立しました。また、昭和 55 年からは生活と生産が調和する村づくりを目指して産業振興祭が開催されました。

多くの人で賑わった産業振興祭(昭和 57 年 8 月)



市内のできごとをお伝えします！



7 月 28 日(火)
ポカテロ姉妹都市訪問団の出発

人の動き

住民基本台帳（令和 8 年 7 月 31 日現在）

人 口	男	33,591 人	（前月比 - 10）
	女	38,393 人	（前月比 - 43）
	総数	71,984 人	（前月比 - 53）
うち外国人		585 人	（前月比 + 34）
世帯数		39,974 世帯	（前月比 - 6）

広報紙に関するご意見・ご要望は、はがき、市ホームページのフォーム、ファックス（0126-23-9977）、E メール（pr@city.iwamizawa.lg.jp）、総務部秘書課広報室へお願いします



岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1 番 1 号
☎ 0126-23-4111（代表） FAX 0126-23-9977



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram



LINE

北村中央公園 ふれあい広場キャンプ場



広告募集中

広報いわみざわに広告を掲載しませんか

募集枠数 各号 2 枠（申込多数の場合は抽選）
掲載料 各号 1 枠 22,000 円
申込期限 掲載希望号の 3 カ月前の月末
（12 月号に掲載希望の場合は 9 月 30 日(水)までに申し込み）
申込方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください



ID: 14518